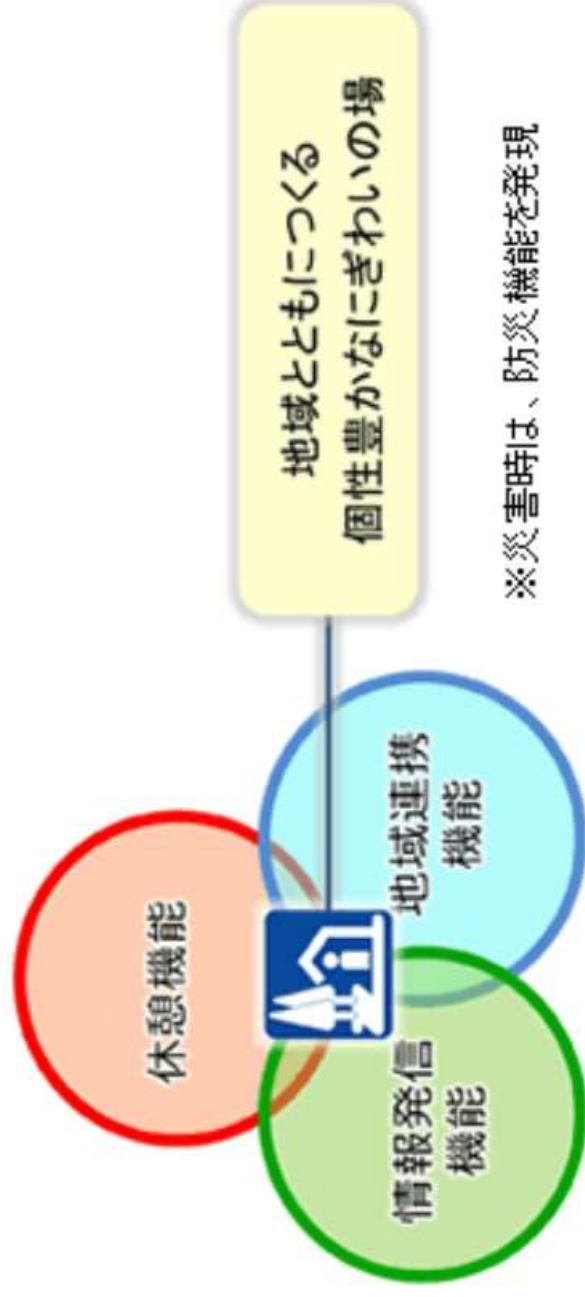


道の駅整備事業

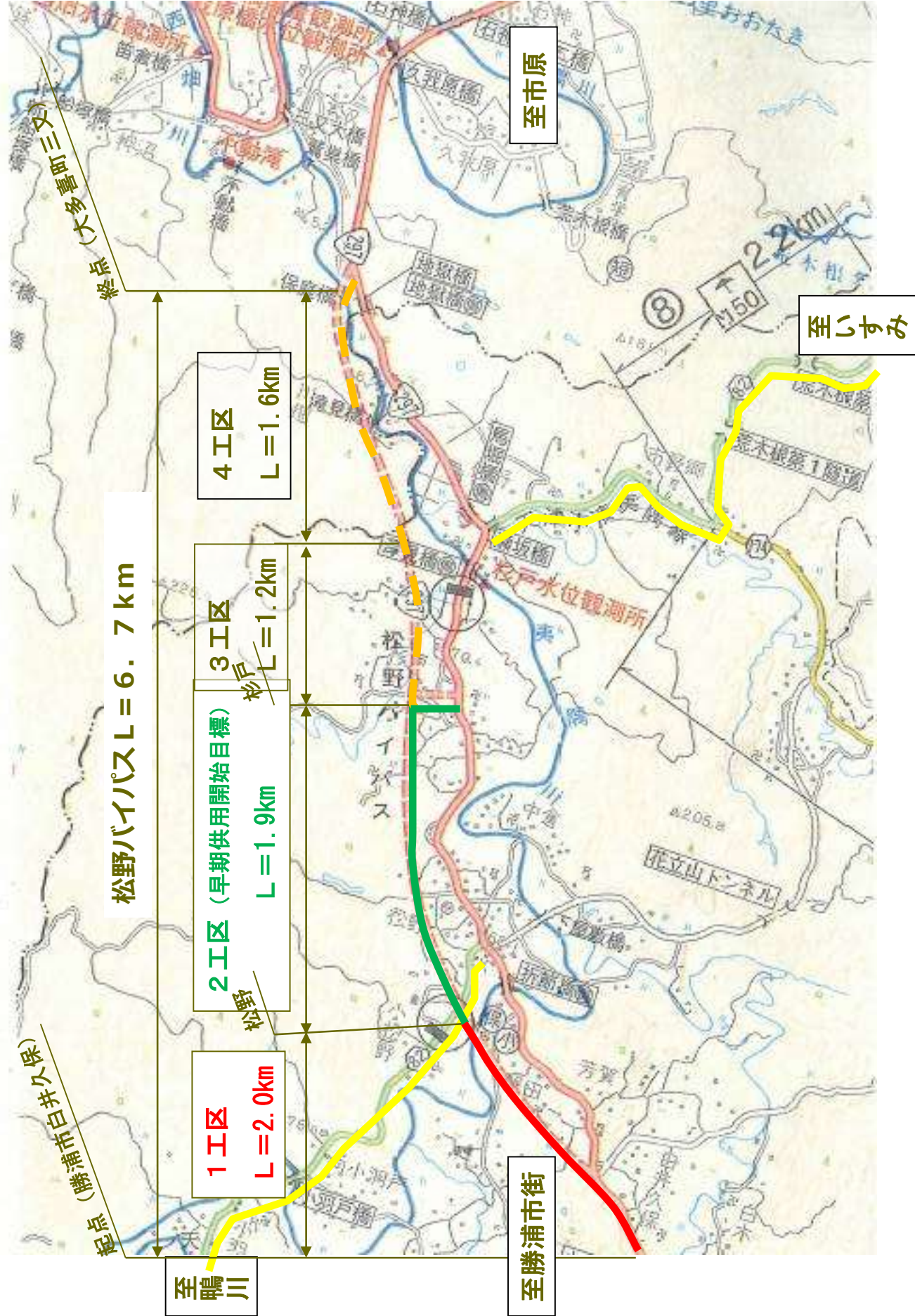
平成30年度に一部開通予定の松野バイパス沿
い（松野地内）への建設を進めます。

道の駅の3つの機能



※災害時は、防災機能を発現

■ 松野バイパス計画ルート



《基本方針》

「小さな拠点」の“核”となる道の駅

◆総野地区版「小さな拠点」の形成

- ・事業対象地周辺の教育施設や保育所、郵便局、診療所、ガソリンスタンド等と一体となって、「小さな拠点」を形成することで、地域住民の生活利便性の向上を図る。
- ・主に、地域住民の利用を対象とし、市の特産品等に加え、日用品等も豊富に提供することで、総野地区の物販機能を拡充する。

◆市の玄関口

- ・市の玄関口として、ここでしか買えない・食べられない商品を集めることで、道路利用者に立ち寄ってもらえる施設とし、地域外からも「ひと」を呼ぶ「ゲートウェイ型」道の駅機能も付加する。
- ・道路利用者を対象に市の魅力（特産品、観光地等）を発信することで、市内各所への「回遊性の向上」、「滞在時間の延長」を目指し、道の駅利用者の各周辺施設への誘導を図る。

◆市の新たな魅力の創出及び市民満足度の向上

- ・道の駅を拠点として、地域資源を活用した観光プラン（七面山長福寺ハイキング等）等を企画することで、着地型観光のモデルとなる道の駅を目指す。
- ・厳しい財政状況が予測されるため、民間事業者のノウハウを活用し、利用者増加及び市の財政負担軽減を図る。
- ・「働く場の確保」、「商工業の振興」、「子どもの遊び場」など強い市民要望の実現に向け、直売所及び公園を整備し、満足度の向上を図る。

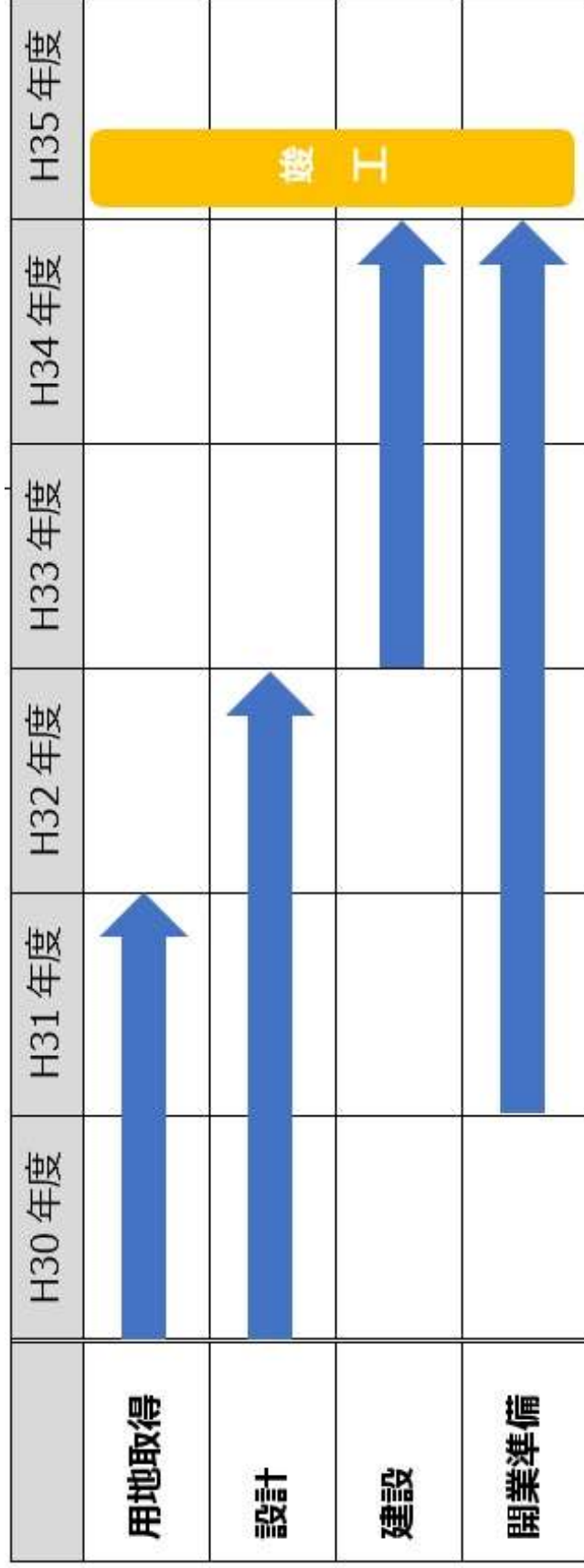


道の駅設置イメージ



勝浦市道の駅基本計画より抜粋

事業スケジュール(想定)



勝浦市道の駅基本計画より抜粋